別紙様式３

学校運営協議会　会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第８条第１項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

１　会 議 名　　岐阜希望が丘特別支援学校　学校運営協議会　（第１回）

２　開催日時　　令和５年５月２３日（火）　１０：００～１１：４０

３　開催場所　　岐阜希望が丘特別支援学校会議室

４　参 加 者

会　　長	出口　和宏	岐阜大学教職大学院　特任教授
副 会 長	可児　隆	早田自治会連合会　会長　（欠席）
委　　員	大野　昌伸	早田公民館　館長
	青山　幸二	岐阜県福祉友愛アリーナ　館長
	安藤　順子	ＰＴＡ会長
	大城戸　克之	岐阜希望が丘こども医療福祉センター　副所長
	尾藤　俊郎	社会福祉法人清流園　次長　（欠席）
	中村　真由美	岐阜県重症心身障がい児（者）を守る会　会長
	今村　正子	社会福祉法人ポップコーン福祉会　施設長
	古田　悦子	児童デイサービスリハビリランド　統括管理者
学 校 側	平野　俊之	校長
	垣添　奈巳	教頭
	老田　晃聖	事務長
	出野　由美子	小学部主事
	肥田　幸宗	中学部主事
	久富　喜江	高等部主事
	長瀬　やよい	教務主任

５　会議の概要（協議事項）

（１）会長、副会長の選出について

会長　出口　和宏氏、副会長　可児　隆氏とすることについて、全委員より承認が得られた。

（２）令和５年度教育計画について

・本年度の当校の教育の目標と重点、経営方針、教育指導の重点について説明し、全委員より承認が得られた。

（３）作業学習製品の価格設定について

意見１：購入しやすい価格設定となっておりよいと思うが、安すぎるのではないか。

⇒原材料を基に、生徒が扱いやすい価格を設定している。

意見２：制限を設けての注文になるのか。
⇒生徒が作成するため数に限りはあるが、個数を制限して販売を行う予定はない。

意見３：原材料等の価格が高騰しているが、今年度の売上はどれくらいを想定しているのか。
⇒今年度は県から原材料費と消耗品費を合わせて１０万円の令達があり、売上額も１０万円を超える額を想定している。

意見４：週何時間の作業時間になるのか。
⇒今年度は５名の生徒が週６時間取り組んでいる。
⇒かなりの品数もあり、努力されていると思われる。価格については適正である。

（４）現在の取組状況等について
・授業参観を実施し、意見交流を行った。

意見１：廊下が広く、明るさも十分にありよい環境で勉強できている様子を見ることができた。廊下にあたたかい言葉や態度について掲示があり、その取組が温かいと感じた。

意見２：コロナが５類になり、それを受けて取り組み方も変わってきており、アリーナの利用も今後増えていくとよい。他校からの利用もあり、今後機会があればぜひアリーナの利用も考えてほしい。また、学校はアットホームな雰囲気でよい。教育方針の中にもあるように進路を１２年間として捉えていくことは大切である。

意見３：１階の児童生徒の関係者のため２階を参観する機会はなかなかないので勉強になった。保護者としては友愛プールの利用回数がもう少し増えるとよい。現在、１階の備蓄品が置いてある場所が浸水被害を受けた場合に適切であるのかという意見が保護者間で話題に上がっている。
⇒学校としても検討していく。

意見４：系統立てて取り組んでいる様子が分かった。また、医療型障がい児入所施設の入所児が良い表情で学習に取り組んでいる様子が見られてよかった。

意見５：職員が児童生徒のことを考えて教材等を作っていた。しかし、働き方改革については是非充実を図ってほしい。また、保護者と会話できる時間をたくさん設け、その中で将来の方向性なども話していけるとよい。福祉避難所について、障がいのある方はほとんどが在宅避難である。避難所に行ってもその環境に入れない場合もある。たくさんの方が避難されても非常用電源の数や、どれくらいまで受け入れられるか等想定しておく必要がある。施設では、福祉避難所として障がいのある方の受け入れについて、登録制にしてほしいという旨を今後市や県へ要望していくつもりである。

意見６：職員の努力が分かる授業内容で、個々の児童生徒を見つめながら工夫された授業であった。児童生徒からよい笑顔が引き出され、個に応じた工夫がなされていた。手作りの教材も、安全にダイナミックな動きができる教材はなかなかないのですごいものを作られていると感じた。また、絵を描くときに斜面台等を使って角度をつけて描きやすいような工夫もなされていてよかった。

意見７：どのように個々に応じた介助を引継がれているのかと思いながら見学した。

⇒学校では保護者から介助等の引継ぎを行ったり、前任者からの引継ぎを行ったりしながら支援にあたっている。場合によっては教員だけではなく看護師と共に車いす等へ移乗するなど、状況を確認しながら一緒に行う場合もある。急変等で対応が必要な場合には緊急放送を活用し、対応している。
⇒素晴らしい体制で取り組まれていると感じた。

意見８：職員や児童生徒の表情が良かった。デジタル教科書について、生徒からも使いやすいという感想が聞けてよかった。危機管理の立場で見ると、近隣の住民の方がこの学校に避難してくる場合も想定される。そういうことを考えつつも、児童生徒を優先していかなくてはならない。いざという時には地元の自治会にも助けてもらわなければならない。そのために情報発信を大切にし、地域の方と一緒に防災について考えていけるとよい。もう一つは児童生徒の意見を聞いたり、児童生徒自らが考えて避難できたりするなど、防災教育も大切である。具体的に考えながら、地域の皆さんと協力できるようになってほしい。
⇒災害の想定によっても対応は違ってくる。専門家の意見も聞きながらいろいろな想定で考え、取り組んでいきたい。

６　会議のまとめ

・第１回学校運営協議会では、全委員より本年度の当校の学校運営基本方針について、全委員から承認が得られた。
・作業製品の価格について、全委員から承認が得られた。
・学習の様子や取組を積極的に地域に発信し、地域との連携をより図るようにする。